

キチジョウソウ



キジカクシ科 吉祥草

キチジョウソウの名は、吉事があると開花するという伝説に由来します。常緑の多年草で、花茎は 8 から 12 cm、淡紅紫色の花が穂状につきます。花序の上部は雌しべが退化した雄花が混じり、雄しべは 6 本です。果実は直径 6-9 mm の球形の液果で、赤く熟し、先端に花柱が残っています。



11 月に見られる花

朝晩寒い日が続くようになるこの季節は、花が少なくなります。コウヤボウキ・タデ類等。樹木では、ゴンズイ・ガマズミ・ミツバウツギ・ムラサキシキブなどの実が楽しめます。

